



**FDK**

第88期 **中間報告書**

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで

**FDK株式会社**

# 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第88期中間期（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の決算をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期における当社グループを取り巻く事業環境につきましては、米国の内需が堅調に推移しているものの、中国をはじめとした新興国経済の減速、資源国や欧州の景気低迷に加え、国内では個人消費の停滞、英国のEU離脱問題や地政学的リスクの増大に伴う一層の円高の進行など先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは本年4月にスタートした中期経営計画1618に掲げた目標の達成に向けて、インダストリアル市場向けについては、今後成長が期待される車載、住宅、環境エネルギー、情報通信などのグローバル市場への拡販に努めるとともに、同市場向け新製品の開発に努めました。コンシューマ市場向けについては、多様化する流通形態に対応した販売体制の見直しと顧客ごとのコンセプトに対応した製品の開発に努めました。また、環境配慮製品として高く評価をいただいているFUJITSU充電電池のプロモーションの一つとして製品のイメージサウンドを国内外に発信するとともに、イメージサウンドの作曲者とコラボレーションしたライブイベントを開催し、SNSなどを通じてグローバルでのブランド認知度の向上に努めました。防災機器・セキュリティ用途ならびに車載用途向けなどビジネスが拡大基調にあるリチウム電池においては、リチウム電池と電子製品のシナジー製品の開発促進、経営資源やビジネス情報の共有化による一層の経営効率化を目的に、FDK鳥取株式会社を本年10月1日付で吸収合併いたしました。

当中間期の経営成績につきましては、売上高はアルカリ乾電池やニッケル水素電池が世界的な個人消費低迷の影響を受けたものの、新たに低価格モデルを投入し、数量が増加したことにより計画どおりに推移いたしました。電子事業の一般的な落ち込み、さらに円高に伴う換算の目減りの影響が加わったことにより、前年同期に比べ35億54百万円減の370億56百万円となりました。

損益面につきましては、急速に数量が伸長する電池製品に対して、コストダウンと当社グループ一丸となった費用の削減に取り組んだものの、円高の進行、材料価格の上昇や電子

事業における大幅な売上減により、3億76百万円の営業損失となりました。経常損失は、円高による為替差損により6億89百万円となり、親会社株主に帰属する中間純損失は、8億92百万円となりました。

中間配当につきましては、未だ欠損状態でありますので、誠に遺憾ではございますが、見送らせていただきたいと存じます。株主の皆様には誠に申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。

下期以降につきましては、上期と同様に国内では個人消費の停滞、為替変動による収益の下振れ懸念、海外では地政学リスクの増大により先行き不透明で厳しい状況が継続すると予想されます。

そのようななか、アルカリ乾電池については、コンシューマ市場での最需期に対応し売上拡大を図るとともに、引き続き材料コストダウンに努め、品質および生産性のさらなる改善を推し進めてまいります。ニッケル水素電池は、高い安全性・幅広い温度特性・長寿命といった特長を活かし、国内外での供給数量拡大に努め、さらに新技術の開発にも注力することで事業の拡大を図ってまいります。リチウム電池は、防災機器・セキュリティ用途ならびに車載用途への生産数量拡大に向けた増産対応を図るとともに、市場開拓してまいりました薄形電池の量産出荷も進めてまいります。電子事業につきましては、最適な生産拠点への移管など、収益改善に向けた施策に待たなしで取り組み、事業の建て直しを図ってまいります。

これらの施策により、厳しい事業環境でも企業体質の強化と経営品質の向上により企業価値を高め、中期経営計画1618の達成に向けて邁進してまいります。

今後とも引き続き当社グループをご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月



代表取締役社長 望月道正

# 事業別の概況

## ■売上概況

### ●電池事業

アルカリ乾電池は、北米向けOEM販売、インターネット販売用途向けが伸長したことや国内では自然災害の発生やスマートフォン緊急充電用途向けで一時的に数量が伸長したものの、円高に伴う換算の目減りにより、前年同期を下回りました。ニッケル水素電池は、国内外の工業用途向けや車載用途向けが落ち込む反面、国内および北米向けOEM販売が伸長し生産数量が増加しましたが、円高による換算の目減りにより、前年同期を下回りました。蓄電システムは、自動販売機・通信機器バックアップ用途向けが堅調に推移したことにより、前年同期並みとなりました。リチウム電池は、国内の防災機器・セキュリティ用途向けや海外の車載用途向けが堅調に推移したものの、海外の防災機器用途向けが落ち込んだことに加え、円高に伴う換算の目減りにより、前年同期を下回りました。

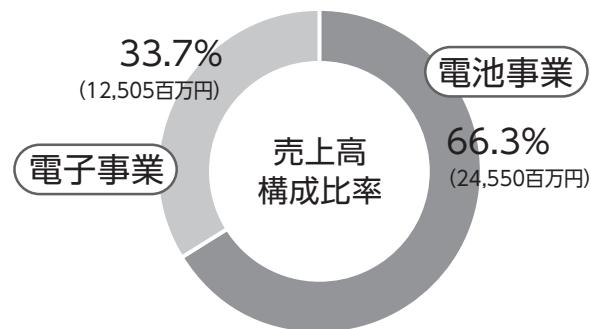
その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ9億96百万円減の245億50百万円となりました。

### ●電子事業

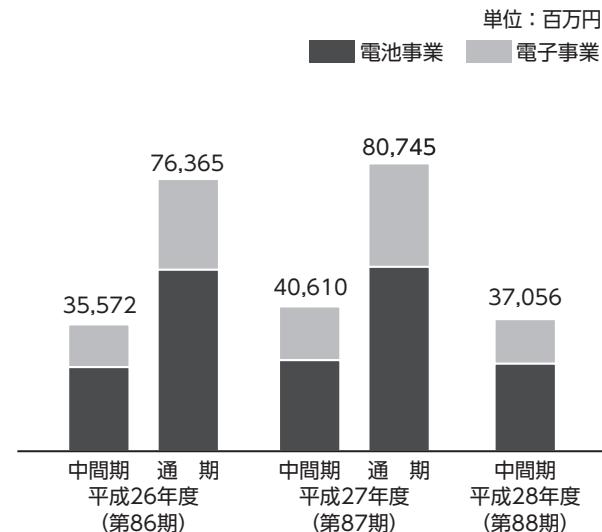
フェライト・コイルデバイスは、車載用途向けが堅調に推移したものの、民生・産業機器用途向けが落ち込んだことにより、前年同期を下回りました。セラミック部品は、デジタルカメラ市場の低迷などにより、前年同期を下回りました。DC-DCコンバータは、サーバ・ストレージ・ネットワーク機器・各種産業機器用途向けが落ち込んだことにより、前年同期を下回りました。液晶ディスプレイ用信号処理モジュールは、大型液晶TV用途向けなどが落ち込んだことにより、前年同期を下回りました。スイッチング電源は、産業機器用途向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ25億57百万円減の125億5百万円となりました。

## ■売上高構成比率



## ■売上高



# 連結財務諸表

## ■ 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期末 (平成28年9月30日現在)	前期末 (平成28年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
I 流動資産	32,927	34,646
II 固定資産	20,038	19,571
(有形固定資産)	18,459	17,913
(無形固定資産)	532	552
(投資その他の資産)	1,046	1,104
資産合計	52,966	54,217
<b>負債の部</b>		
I 流動負債	39,151	37,597
II 固定負債	8,169	8,866
負債合計	47,321	46,463
<b>純資産の部</b>		
I 株主資本	8,243	9,135
資本金	28,301	28,301
資本剰余金	22,622	22,622
利益剰余金	△ 42,634	△ 41,742
自己株式	△ 45	△ 45
II その他の包括利益累計額	△ 3,287	△ 2,065
その他有価証券評価差額金	22	19
為替換算調整勘定	△ 240	1,205
退職給付に係る調整累計額	△ 3,068	△ 3,290
III 非支配株主持分	688	683
純資産合計	5,644	7,754
負債純資産合計	52,966	54,217

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てにより表示しております。

## ■ 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	前中間期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
売上高	37,056	40,610
売上原価	31,695	33,557
売上総利益	5,361	7,052
販売費及び一般管理費	5,738	5,781
営業利益又は営業損失(△)	△ 376	1,271
営業外収益	128	402
営業外費用	441	498
経常利益又は経常損失(△)	△ 689	1,174
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	△ 689	1,174
法人税、住民税及び事業税	247	191
法人税等調整額	△ 58	4
中間純利益又は中間純損失(△)	△ 878	978
非支配株主に帰属する中間純利益	13	8
親会社株主に帰属する中間純利益又は 親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△ 892	969

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てにより表示しております。

## ■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)	前中間期 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 344	2,902
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 835	△ 911
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 224	△ 1,833
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 599	△ 93
V 現金及び現金同等物の増減額	△ 2,004	63
VI 現金及び現金同等物の期首残高	5,952	4,758
VII 現金及び現金同等物の中間期末残高	3,948	4,821

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てにより表示しております。

## トピックス

### ◎「センサーロガー®」に長時間駆動可能な電池交換タイプを開発



当社は、販売中の「センサーロガー®」をベースに電池交換タイプの新センサーロガー®を本年11月に開発いたしました。

全てのものがインターネットにつながるIoT (Internet of Things) の到来に向け、当社はこれまで人やモノへの装着・貼付により、さまざまなデータを取得するデバイスとして、薄形の「センサーロガー®」を一昨年開発し、販売を開始しております。

今回、「稼働時間を延ばしてほしい」とお客様の要望を受け開発に取り組み、電池の消耗を減らすためセンサー機能をお客様のご要望に応じてカスタマイズ可能にするとともに、電池を交換できるタイプにすることで長時間使用可能なセンサーロガー®を開発いたしました。

さらに、今回の開発に合わせて、従来の各種センサー（加速度/地磁気/温度/湿度/気圧/照度）のうち、地磁気センサーについては、より応用範囲の広い角速度（ジャイロ）センサーに変更することで、利便性も向上させました。

### ◎FUJITSU充電電池のイメージサウンドを発信



当社は、世界的に希少なクラビオーラの奏者でピアニストでもある折重由美子氏がプロデュースした楽曲“風の贈り物～Save The Earth～”をFUJITSU充電電池のイメージサウンドとすることを本年7月に決定いたしました。

当社は、FDKグループ環境方針「FDKグループは自然を愛します かぎりある地球のために」のスローガンのもと、環境活動を積極的に推進しております。今回、電池プロモーションの一つとして、“Save The Earth～電池を通して地球のことを考える～”というコンセプトメッセージをグローバルに発信いたしました。

今後、当社の営業活動・SNSでの発信・拡散や折重由美子氏の地球環境重視のエココンサートへのサポートなどを通じ、本イメージサウンドを活用するとともに、環境活動としては、環境保全を含めたさまざまな活動に真摯に取り組み、かけがえのない豊かな自然・美しい地球環境を次世代につたえてまいります。

### ◎FDK鳥取株式会社を吸収合併



当社は、本年10月1日付でリチウム電池の開発、製造を行なうFDK鳥取株式会社（鳥取県岩美郡）を当社を存続会社として吸収合併いたしました。

リチウム電池事業は、住警器・各種メータ・車載用途向けなどで旺盛な需要が継続し、また薄形リチウム電池の販路開拓によりビジネスは拡大基調にあります。この拡大期に経営資源の相互活用によるグループ経営の効率化、意思決定の迅速化およびリチウム電池と電子製品の複合製品の開発連携向上によるビジネスのさらなる強化を図ってまいります。

# FDKグループの概要 平成28年10月1日現在

FDKグループは、各種一次・二次電池および蓄電デバイスならびにエレクトロニクス関連の素材・部品とそれらの応用製品・応用装置の製造および販売を主な事業としております。

## ■FDKグループの主要拠点

※工場・生産会社の [ ] 内は、主要生産品目です。

### ●当 社

本 社

◆東京都港区港南一丁目6番41号

工 場

A 湖西工場 [トナー]

B 山陽工場 [セラミックス部品、積層パワーインダクタ、コイルデバイス]

C 高崎工場 [ニッケル水素電池、蓄電システム]

D 鳥取工場 [リチウム電池]

営 業 所

① 札幌営業所

④ 名古屋営業所

⑦ 福岡営業所

② 仙台営業所

⑤ 大阪営業所

③ 首都圏営業所

⑥ 広島営業所

### ●当社グループ

国内生産会社

1 FDKエナジー (株) [アルカリ乾電池、リチウム電池]

2 (株) FDKエンジニアリング [各種製造設備]

海外生産会社

1 SUZHOU FDK CO., LTD.

中国・蘇州 [液晶ディスプレイ用信号処理モジュール]

2 XIAMEN FDK CORPORATION

中国・廈門 [スイッチング電源、液晶ディスプレイ用信号処理モジュール]  
コイルデバイス、ニッケル水素電池・リチウム電池のバック電池]

3 FUCHI ELECTRONICS CO., LTD.

台湾・桃園 [液晶ディスプレイ用信号処理モジュール、DC-DCコンバータ]

4 PT FDK INDONESIA

インドネシア・プカシ [アルカリ乾電池]

海外販売会社

FDK AMERICA, INC.

① 米国・サニーベール

② 米国・ダラス

FDK SINGAPORE PTE. LTD.

③ シンガポール

FDK HONG KONG LTD.

④ 中国・香港

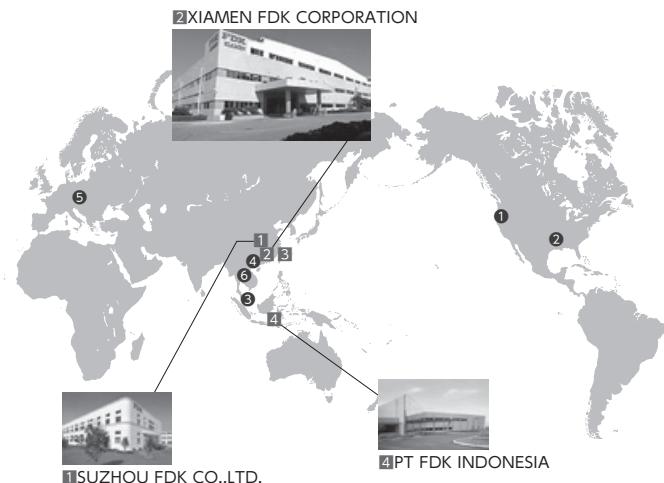
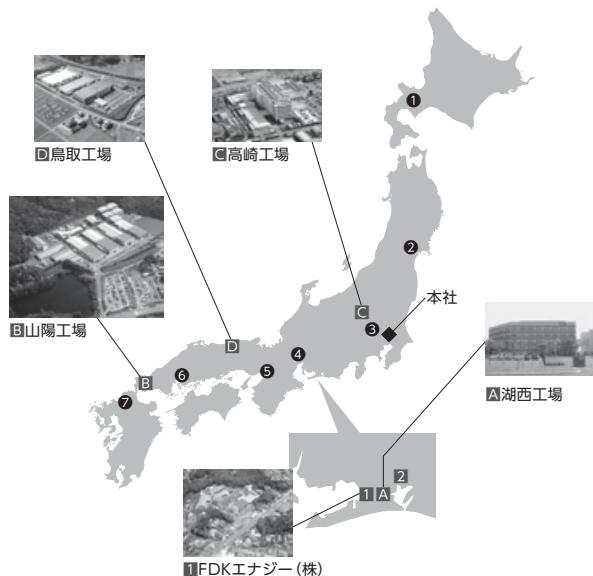
FDK ELECTRONICS GMBH

⑤ ドイツ・ミュンヘン

FDK (THAILAND) CO., LTD.

⑥ タイ・バンコク

(ほか、連結子会社2社、持分法適用関連会社1社)



# 会社および株式の概要

平成28年9月30日現在

## ■商号 FDK株式会社

(英文社名：FDK CORPORATION)

## ■設立 昭和25年(1950年)2月7日

## ■資本金 28,301,221,513円

## ■従業員数 1,484名 [FDKグループ：4,170名]

## ■主要製品

電池事業 アルカリ乾電池、ニッケル水素電池、リチウム電池、マンガン乾電池、蓄電システム、各種強カライト、電池製造設備

電子事業 スイッチング電源、コイルデバイス、DC-DCコンバータ、積層パワーインダクタ、セラミックス部品、トナー、液晶ディスプレイ用信号処理モジュール

## ■役員

### ●取締役

地位	氏名
代表取締役社長	望月道正
取締役	川崎健司
取締役	広瀬陽一
取締役	松島等
監査等委員である取締役	須藤純司
監査等委員である取締役	伊藤文夫
監査等委員である取締役	神谷和彦

- (注) 1. 監査等委員である取締役伊藤文夫および神谷和彦の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
2. 監査等委員である取締役須藤純司氏は、常勤監査等委員である取締役であります。

## ■所有者別株式数分布状況



## ■発行可能株式総数

株式の種類	発行可能株式総数
普通株式	510,000,000株
優先株式	30,000,000株
合計	540,000,000株

## ■発行済株式の総数および株主数

株式の種類	発行済株式の総数	株主数（前期末比）
普通株式	280,363,026株	12,668名(579名増)

## ■大株主

株主名	当社への出資状況		
	持株数(千株)	持株比率(%)	
富士通株式会社	普通株式 202,954	72.46	
富士電機株式会社	普通株式 3,395	1.21	
第一金属工業株式会社	普通株式 1,282	0.46	
FDK取引先持株会	普通株式 985	0.35	
大和証券株式会社	普通株式 959	0.34	
日本証券金融株式会社	普通株式 853	0.30	
大五運送株式会社	普通株式 607	0.22	
浅川和彦	普通株式 570	0.20	
松浦健	普通株式 500	0.18	
松井証券株式会社	普通株式 476	0.17	

- (注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨ててにより表示しております。  
2. 持株比率は、自己株式(262,779株)を控除して計算しております。

# 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
議決権の基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告方法	電子公告 当社は公告を下記ホームページに掲載しております。 <a href="http://www.fdk.co.jp/kessan-j/index.html">http://www.fdk.co.jp/kessan-j/index.html</a> ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行ないます。

住所変更、単元未満株式の買取のお申出先につきましては、株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

## 単元未満株式の買取 請求制度のご案内

当社株式の証券市場での取引は1,000株単位となっており、1,000株未満の単元未満株式は、市場で売却することができない、株主総会における議決権がない等の一定の制限がございます。

単元未満株式をご所有の株主様は、当社に対して、単元未満株式の買い取りをご請求できます。当社株式を証券会社等の一般口座でご所有の場合はお取引の証券会社等に、特別口座でご所有の場合は三菱UFJ信託銀行株式会社 (☎0120-232-711) にお問い合わせください。

### 単元未満株式の買取請求制度って？

単元未満株式をご所有の株主様が、単元未満株式の売却をご希望の場合に、当社が市場価格で買い取らせていただく制度です。

## 当社ホームページについて

その他 IR情報もホームページに掲載しております。  
是非ご参照ください。

当社ホームページ  
..... <http://www.fdk.co.jp/>

当社IR情報  
..... <http://www.fdk.co.jp/kessan-j/index.html>



当社ホームページ



当社IR情報

